

スキーオリエンテーリング北海道大会 2008年3月15日 北海道留寿都村

スキーオリエンテーリング
世界選手権 2009 の会場とな
るルスツリゾート。
ここで行われた北海道大会。
もう気分は世界戦へ。

2008年3月15日 北海道留寿都村
スキーオリエンテーリング北海道選手権



酒井佳子、男子クラスに出走。4位に入る。
今シーズンも国内女子ではダントツの強さを誇る

結果成績

MA-6km

1	堀江守弘	0:37:51
2	高橋善徳	0:43:50
3	黒田幹郎	0:44:42
4	酒井佳子	0:44:46

WA-4.2km

1	高橋美和	0:37:12
2	白鳥桂子	0:42:55
3	元木友子	0:47:54

B-2.3km

1	高原 進	0:26:59
2	田代雅之	0:37:26

大混戦！男子2番手争い

強い。堀江守弘は本大会でも圧倒的強さを発揮している。2008年スキー-Oシーズン、堀江は完走したレースは全て優勝を果たしたことになる。

この堀江に続く男子の2番手争いは大混戦状態。本大会ではわずか3分ほどの間に多くの選手が入った。1年後に日本で開催される世界選手権大会を目前に日本代表入りを目指す選手同士の争いが一段とヒートアップしている。

本シーズン唯一

この大会には日本スキーオリエンテーリングのトップ選手がほぼ集結した。本シーズンこのメンツで競えるのはこれが最初で最後の機会。ガチンコ勝負が繰り広げられることになった。

競技人口の少ないスキー-Oでは、競技会を開催するにあたって競技者の誰かが運営側に回ることが多い。そのため一同が全員で競い合える機会は実は少ない。今回の運営ではトップ競技者が含まれなかったため、久々にトップ競技者全員が競う環境が揃ったのだ。

衝突！

今シーズン注目の田中陽希選手は、トレイン内で元木悟選手と接触し、負傷・棄権した。一時は両選手とも病院に行くほどの激しい衝突だった。

スキー-Oは競技速度が速い。両選手の衝突は自転車同士がぶつかったくらいの衝撃を想像してもらえればよいだろう。

う。

スキー-Oは狭い走路を高速で滑る。競技者同士がすれ違う事も頻繁にある。お互いが声をかけあって、右側通行(スキー-O国際基準)を遵守して事故を防ぐことが必要だ。

とっさの判断が求められる「すれ違い」の反復練習を行うことが事故防止のために必要だろう。



スタートはルスツリゾートの敷地の中から。濃霧が立ち込め、ここがホテルの中だとは思えない。



レースが終われば皆でパーティ！来日中のシニアイベントアドバイザーと一緒にワインを飲みながら。



高橋善徳 北海道大会で堀江に続く2位。2位以下の男子は大混戦。

霧の北海道

今年の冬に記録的な寒さとなった本州とは違い、北海道は記録的に暖かくなった。大会が行われたルスツでも雪融けが急速に進み、積雪量も例年と比べて少なめだ。

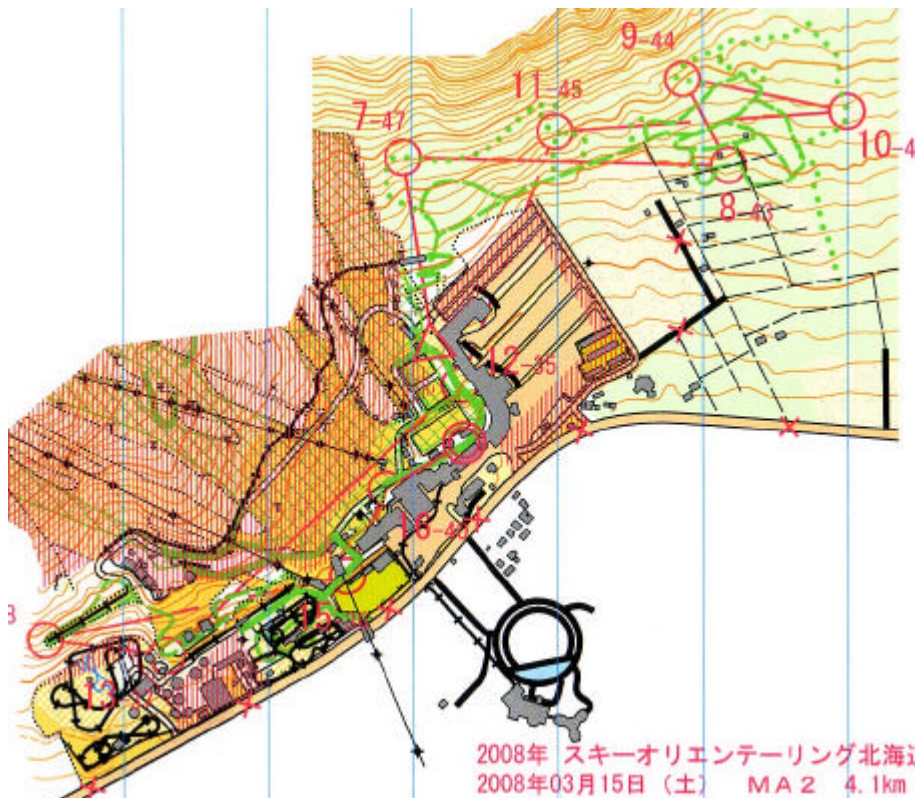
大会当日にはなんと小雨が振り出し、雪質はやや重い感じとなった。だがそれ以上に参加者を苦しめたのは霧。例年春先にならないと発生しない濃霧が、早くも今年は競技中に発生。視界は10m程度となった。

高速ナビゲーションが必要なスキー0にとって、この霧が競技の難易度をさらに押し上げた。

雪崩注意

今回のコースは北海道協会が当初想定していたコースよりも短縮されたものとなった。当初予定されていたコースの一部が定常的な雪崩の通り道となっているためである。今年は雪融けが急速に進んだため、大会前に雪崩が発生した。

大会コースはこの雪崩跡を避けるよ



2008年 スキーオリエンテーリング北海道
2008年03月15日(土) MA2 4.1km

本大会、男子コース(MA)地図交換後の後半。

9番と11番の間のモービルトラックが繋がっていない。この部分が雪崩によって通行できなくなっていた。ルスツリゾートホテルの周囲をぐるりと回るようなコース。

うに設定された。当初のコースでは競技者がすれ違わないように設定されていたが、雪崩によるコース変更に伴い競技者がすれ違うようなコース設定になった。田中選手と元木選手の衝突の遠因はこんなところにもある。

サミット・プレスセンター 横

いま、ルスツ周辺は今年の夏に開催される北海道洞爺湖サミットの準備に追われている。大会会場となったルスツリゾートの敷地には、サミットのプレスセンターが置かれることになっており、その設備が雪の中工事が進んでいた。今回競技が行われたトレインは、そのプレスセンターの真横だ。

ルスツは、この夏に世界中から多くのサミット取材者を迎える。そして来冬になるとスキーオリエンテーリングの世界一を目指す多くのアスリートがこの地を訪れる。

(木村佳司)



黒田幹朗
実力上昇中。今回3位に食い込んだ。